被災者の恒久的な住まいの確保

背　景

被災者が仮設住宅から自宅や賃貸住宅などの恒久的な住まいに円滑に移り住むことができるよう、
地方自治体による支援が必要である。

安平町が被災者向けに
整備した公的賃貸住宅

成　果

1　住まい確保の課題の明確化

仮設住宅からの住み替え過程を整理し、
住まい確保のための課題を明確化

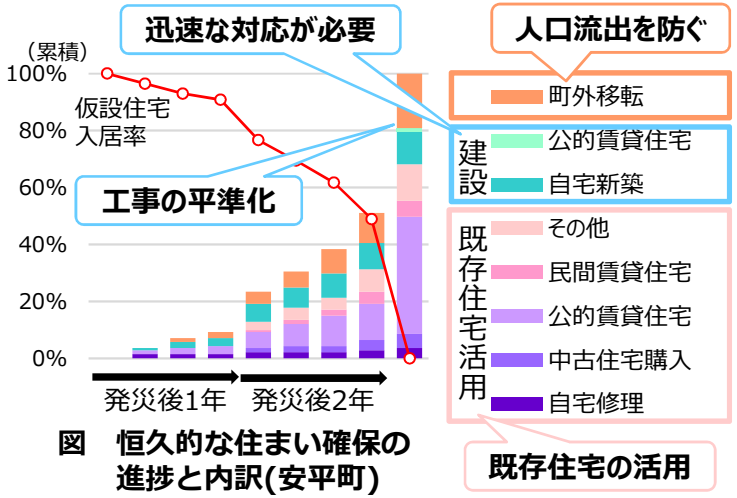
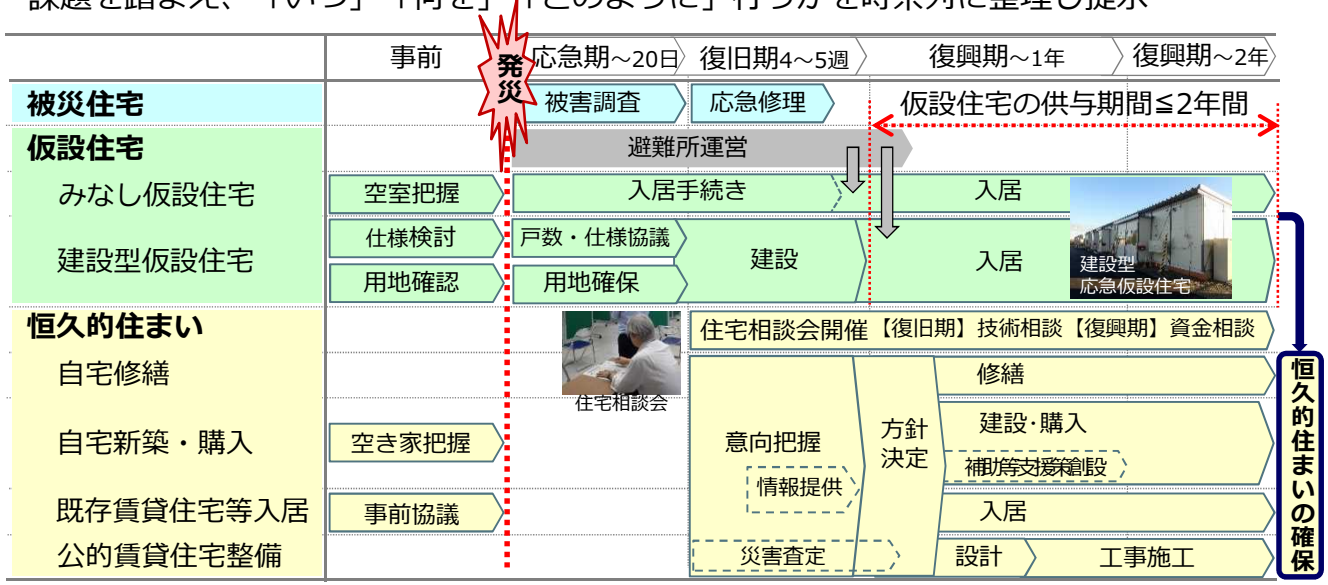


図　恒久的な住まい確保の
進捗と内訳(安平町)

2　住まいの確保に向けた「タイムライン」の作成

課題を踏まえ、「いつ」「何を」「どのように」行うかを時系列に整理し提示



意向把握のためのモデル調査票、公的賃貸住宅整備の収支計算ツールなどを提供

期待される効果

成果は、北海道の「住宅の災害対応マニュアル」に反映され、今後の災害において道内市町村が活用。

協力機関：北海道建設部住宅局住宅課、厚真町、安平町、むかわ町